

古典籍の画像を作成・公開してみたけれど…

予算が厳しい…

何度も算盤
はじいた
けれど…



維持管理が大変

デジタル
アーカイブ
の構築…



定期的な
システム更新、
目録の整備…

グローバル対応…

英語表記？
国際規格？



…とお悩みの機関のみなさま

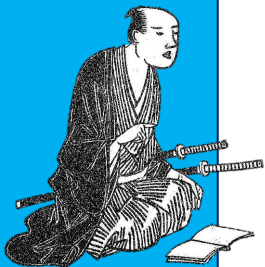
日本古典籍の画像を 国書データベースから 全世界に公開できます！

これは朗報！ いいこと聞いた！
でも公開って大変なのかな…？



ご安心を！

手続きは簡単、
メリットは色々！



- ✓ 古典籍画像と書誌情報があれば公開できます。
- ✓ 個々の書誌情報は、著作情報(作品の情報)と紐づけられ、他機関の所蔵資料と共に検索・表示の対象になります。
- ✓ 自館ウェブサイトでの公開もちろん継続可能です。
- ✓ 機関ごとの公開画像一覧ページも作成します。
- ✓ DOIを付与して永続的なアクセスを確保します。
- ✓ IIFに対応しています。(詳細は裏面)
- ✓ 国内外の機関との連携実績多数！
- ✓ 利用者が見つけやすくなり、アクセス・利活用が増加！

国書DBについては
こちら(裏面)

国書データベースとは？

「国書データベース」は世界最大級の日本古典籍データベースです。「日本古典籍総合目録データベース」と「新日本古典籍総合データベース」を統合して2023年に誕生しました。

国文学研究資料館をはじめ、国内外の大学や研究機関、専門機関、自治体、個人が所蔵する日本古典籍の画像と書誌情報を公開しています。主に江戸時代までの本が中心ですが、近代の資料の画像と情報も増えています。

所蔵機関・個人のご協力の結果、現在約30万点の画像を公開できています。また、2024年度から開始した大規模学術フロンティア促進事業「データ駆動による課題解決型人文学の創成」（略称：国文研DDHプロジェクト）では、15万点の画像の新規公開やAIを活用したテキスト化などに取り組んでいます。

国書データベースでは、画像を「IIIF (International Image Interoperability Framework) 」というデジタルアーカイブの国際的な枠組みに対応したビューアで表示しているため、異なるデジタルアーカイブ間での画像共有や再利用ができます。

また、画像データには、DOI (digital object identifier/デジタルオブジェクト識別子) が付与されているため、永続的なアクセスが保証されています。



<https://kokusho.nijl.ac.jp/>



◀ 国書データベースへのアクセスはこちらから

泣いてるの？

押し本の画像に
嬉し涙…



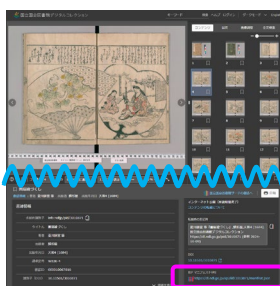
IIIF連携もできます！

IIIFに対応した画像ビューアをご利用の場合は、IIIF Manifest URIをご提供ください。

NDLデジタルコレクションとのIIIF連携の実例だって



うちもできるかな



<https://dl.ndl.go.jp/pid/3010871/>

IIIF Manifest URI


<https://www.dl.ndl.go.jp/api/iiif/3010871/manifest.json>



<https://kokusho.nijl.ac.jp/biblio/100406119/>

お問い合わせはこちら

詳しく聞いて
みようかな



国文学研究資料館 基盤データ企画係

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3

E-MAIL: center_db@nijl.ac.jp

TEL: 050-5533-2913 FAX: 042-526-8606

URL: <https://www.nijl.ac.jp/>



国文学研究資料館
ウェブサイト

画像のご提供に関するご連絡の他、古典籍の画像作成・公開に関するご相談（撮影用スキャナの貸出、貴重資料のデジタル化についてなど）も承ります。

今すぐメールしよう！

